

# 研究課題名：文化的差異を加味した新たな漁業管理理論の構築と実証

## ～ 文化を漁業の制度設計に組み込む ～



さかい ゆうたろう

氏名：阪井裕太郎  
所属機関：東京大学  
役職：准教授

(森林圏科学、水圏応用  
科学およびその関連分野/  
水圏生産科学関連)

### <研究概要>

水産資源を含む共有資源では、個人の利益と集団の利益が一致しにくく、資源の過剰利用が生じやすいという課題があります。本研究では、従来の制度設計論が見落としてきた文化的価値観の違いに焦点を当て、資源管理の枠組みに新たな切り口を提示します。実験経済学的手法で国内外の漁業者の文化的価値観を定量化し、制度の受容や効果との関係を実証的に分析することで、文化的差異に適応した漁業管理の設計原理を導き出すことを目指します。

目的：国内外の漁業者の文化的価値観を定量化し、制度の受容や効果との関係を実証的に分析することで、文化的差異に適応した漁業管理の設計原理を導き出すこと

フェーズ	ステップ	内容	手法
フェーズ1	Step 1	<input type="checkbox"/> 漁業者の価値観の特徴を検討 <input type="checkbox"/> 文化を含む漁業者行動理論の構築	<input checked="" type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 理論分析
	Step 2	<input type="checkbox"/> 漁業者の価値観・漁業管理、及び 漁業のアウトカムの関係性の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 経済実験
フェーズ2	Step 3	<input type="checkbox"/> 文化的差異を加味した新たな漁業 管理の効果推定・シミュレーション	<input checked="" type="checkbox"/> 誘導系推定 <input checked="" type="checkbox"/> 構造推定

### <略歴>

2008年東京大学農学部卒業、2010年東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了、2017年カルガリー大学大学院経済学研究科博士課程修了、2017年水産研究・教育機構研究等支援職員、2018年アリゾナ州立大学School of Sustainability Post-doctoral Research Associate、2019年より現職。